

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Premiumcare CODOMODUSみやび		
○保護者評価実施期間	R7年1月4日		～ R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 43
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		～ R7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援と小グループ支援をお子様の希望や発達課題にあわせて組み合わせて支援を行なっている。	お子様やご家族とコミュニケーションを取り、情報共有しながら支援内容を決定している。 個別から小グループへ段階を踏んだ移行や、小グループから個別へと課題に応じて支援環境を柔軟に変える工夫をしている。 集団のなかでもお子様の個性を大切にプログラムや支援を行なっている。	以前よりも小グループでの支援が増えているが、集団の中でもお子様それぞれの希望や思いを聞く機会を必ず作り、個々を大切に支援していきたい。
2	お子様が自分の居場所として安心して過ごせるような関わりと環境づくりを徹底している。	お子様のすきな事や得意な力を使って、自分を自由に表現することを楽しみ、興味のあることにチャレンジできる環境を整えている。 お子様の発言や行動等をしっかりと受け止め丁寧にアセスメントを行い、ご本人が望む支援を提供できるようにしている。 集団の中でお互いに心地いい空間を作っていくようにお子様同士の関わり方の支援や過ごし方、ルールなどを事前に確認するなどの工夫を行っている。 お子様それぞれの目標をご本人が主体的に決められるように、話し合い意思決定の機会を作っている。 ご家族との情報共有を丁寧に行っている。	どんな時も内なる自分を表現することを楽しみ自信を持って個性を発揮できるように支援していきたい。 お子様の気持ちや意志決定を尊重し、やりたいことや得意としていることを満足して楽しめるように環境を整えることに引き続き取り組んでいく。 個別から小グループでの活動が増え、移行に不安を感じていたお子様やご家族が多くあったが、同じ場所と時間を過ごす仲間として相手を意識して行動や発言できたり、自分のペースを守りながら活動できるお子様が増えてきた。自分の居場所という安心できる環境の中で人と関わる具体的な方法やコツ、社会のルールを知って実践的に取り組む等より良い人間関係を築く力を育てていきたい。 メンタルヘルスと栄養や健康についての取り組みを充実し、自己理解や自己管理の力を養いたい。
3	それぞれの支援員の専門性を活かした支援を行なっている。また職員間の連携が密でありチームの総合力で支援を行なっている。	職員がお互いの専門性を理解するように努めている。そのため普段からお子様の様子や支援内容、それぞれの考えや思いについて頻りに話し合い意見交流しているので職場環境が良い、幅広い内容でお子様の希望や必要性に応じて支援をしている。	どんなことでも話し合っ物事を共有し、お互いの専門性を尊重することで、お子様に様々な方向から支援を提案できるので、今後も職員間のコミュニケーションを丁寧に、お子様やご家族の支援に活かせるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の構造上室内や空間が狭く段差や階段があり、支援内容や人数にあわせて部屋の使い方の工夫が必要である。	人数、活動内容によって、部屋の間仕切りなどを工夫してスペースを作っている。 安全面の確保のため注意書きをしたり、物品を整理するなど、快適にご利用いただけるように工夫をする。(ホワイトボードで活動場所を示す、靴をそろえる場所にイラスト表示、荷物置き場の設定)	整理整頓、構造化を心がけていく。 小グループでの活動が増えてきたこともあり、活動内容、人数、職員配置など考慮しながら引き続き環境整備と部屋の使い方の工夫を行う。
2	各種マニュアル、安全計画など緊急時の対応、保護者会の開催などの取り組みについてのお知らせが不十分である。	災害時や緊急時の対応についてのマニュアルを常時閲覧できるようにしたり掲示板でお伝えし、訓練についてはお子様の支援記録に記載したりその他事業所での取組やご案内をメール、SNSなどでお知らせするなど様々な方法をとっているが、周知徹底に至っていない。	情報発信のやり方を見直し、必要なことがきちんと伝わるようにご家族が来所された時に口頭での説明を徹底する等、事業所での取り組み内容を具体的にお知らせする工夫を行う。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者学習会やペアレントトレーニングは年に何回か実施しているが、当事業所の保護者会は学習会要素が強いこともあり保護者交流の場としては不十分である。きょうだいへの支援はご希望があった場合心理職が中心となり具体的な困り事や関わり方について支援の時間を作っているが取り組みが周知できていない。	次年度は学習会とは別に交流会などを企画していく。 きょうだい支援については、取り組みについて必要なご家族にお声かけし、具体的な希望などを保護者様に確認していく。 次年度の学習会できょうだい支援をテーマに取り上げる予定。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	Premiumcare CODOMODUSみやび
------	--------------------------

公表日 年月日 R7年3月8日

利用児童数 R7年2月28日 現在53名

回収数 43/46

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	2	3	2	こだわりのある子どもに対して希望を叶えるには室内では難しいようなことも工夫していただいています。	活動内容によっては部屋が狭い時もありご不便をおかけしております。活動内容と部屋の広さの調整をしつつ、お子様がやりたいことを実現できるように場所の使い方の工夫を今後も徹底していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	43	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	12	1	1	バリアフリーではない	施設の間取りや構造上の狭さがあり、ご不便をおかけする時がありますが、快適にご利用いただけるように、整理整頓、構造化などの配慮を心がけていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	4	0	3		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	1	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	9	12	12		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	42	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	3	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	42	0	0	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	2	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43	0	0	0		

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	11	2	10	兄弟がいないので分かりません。保護者会があり参加できていないが今後していきたい。兄弟児支援があれば嬉しいです。	毎年保護者学習会を開催しており、その中で保護者様同士のつながりができているお話を聞いております。当事業所の保護者会は学習会要素が強いこともありますが、保護者交流の場としては不十分であると思います。次年度はご希望のある保護者様対象に交流会などを企画していきます。きょうだいの支援はご希望があった場合心理職が中心となり具体的な困り事や関わり方について支援の時間を作っておりますが、広くお知らせできていないこともあるので、今後はきょうだい支援について具体的な希望などを保護者様に確認していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41	1	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	42	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	35	5	0	3	SNSを楽しみにしています。	InstagramやYouTubeでお子様の作品や活動を発表したり、LINEや掲示板で必要な情報を発信しております。LINE登録ができていない保護者様に関しては登録のお願いを直接させていただきます。また日々の活動や行事などをより詳しく発信する方法を検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	40	1	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	38	3	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	2	0	3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40	2	0	1	ボードの押しピンが危ないなあいつも思っています。	ご指摘ありがとうございます。お子様の過ごす場所や良く通る場所から押しピンを除去し、テープに変更しました。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	2	0	6	事故が起こっていないのでわからない。	今のところ事故や怪我の発生はありませんが、発生した場合は速やかに連絡や状況説明をマニュアルに則って行います。支援中の安全には十分に注意し、安心して利用していただける環境を整えていきます。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	43	0	0	0	コドモダスは自分の大切な居場所だと言っています。	安心して通っていただける場所であり続けられるように職員一同日々努力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	42	1	0	0	とても楽しみにしています。何れ苦手なものなので教室に行くことはちょっと嫌がり気味です。	苦手に取り組むことはお子様にとって負担が大きいことだと思います。その心も負担を理解し、嫌だな・と思うお子様の気持ちをしっかりと受け止めながら、世の中にはこれ一つ、だけでなく、様々な考え方ややり方があることを理解できるように伝え、自分ができそうなことからやってみようという前向きな行動が少しでもできるように、お子様の気持ちや挑戦を支えていきたいと思っております。また苦手だけでなく、お子様の得意なことや好きなことも十分に楽しめる時間もと大切ですので、両方のバランスをとりながら支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	42	1	0	0	いつも子どもの希望に沿った支援をして頂いてありがとうございます。	お子様それぞれのやりたいことや興味があることに一緒に取り組むことを私たちも楽しんでいます。様々な経験をしながらともに過ごす日々の中でお子様から学び気付かされるのが沢山あり、その全てがかげがえのない大切な宝物です。お子様一人ひとりの健やかな成長を職員一同心より願っています。いつもありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Premiumcare CODOMODUSみやび				公表日	R7 年 3 月 8 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	グループ支援では、人数、活動内容によって、部屋の間仕切りなどを工夫してスペースを作っています。	活動内容によっては部屋が狭い時もありご不便をおかけしております。活動内容と部屋の広さの調整を今後も徹底していきます。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	法令で必要とされる数を配置しています。またグループ支援や個別支援の組み合わせで支援する場合など状態に合わせて職員の配置数を増やすなどの工夫をしています。				
2	職員の配置数は適切であると思いますか。		43	0			0		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	(Δ)	施設の間取りや構造の狭さがあり、ご不便をおかけする時がありますが、安全面の確保のため注意書きをし、快適にご利用いただけるように配慮する等の工夫をしています。お子様の活動内容に合わせて部屋の使い分けを行っています。	毎日の清掃や消毒を徹底し清潔な空間作りを行っていますが、部屋の作りが狭く、ご不便をおかけしております。グループでの活動が増えてきたこともあり、活動内容、人数、職員配置など考慮しながら引き続き環境整備を行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		個別支援の希望者も多く、個別支援が常にできる状況にしています。またクールダウンに使える小さなスペースもあり、必要に応じて使用できるようになっています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		ミーティングや定期的にケースカンファレンスを実施し、支援内容の見直しを行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		保護者様へのアンケートを実施し、結果をもとに業務改善に向けてのミーティングを行い、アンケート調査の結果を踏まえ、業務改善に向けた見直しを行っております。また保護者様の来所時に面談や相談をお受けし、意向やニーズの把握を行っており、常に職員間で話をする機会を持ち、意見を自由に出し合う職場環境になっています。そこで意見を元に必要に応じて業務改善につなげています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		現在は第三者による外部評価は行っていません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		R6年度は虐待防止、対人援助、メンタルヘルス、発達障害を取り巻く現状などについての社内内外部開催の研修を開催、受講しました。研修情報を職員に通知し参加を推奨しています。またそれぞれの職員が参加してきた研修の内容・資料を職員間で共有し現場で活用しています。	出勤日数が少ない非常勤職員の研修参加に制限があり、それぞれに研修参加の重要性を理解してもらいを積極的に参加を促していきます。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		支援プログラムはお子様や保護者の希望やニーズを踏まえて職員間で話し合いのもとに作成しています。自己評価結果を事業所の掲示板に掲示し、またホームページ上でも公開しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		定期的にモニタリングやアセスメントを行い、お子様や保護者様のニーズも踏まえて支援内容を決定し計画を作成しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>		当事業所は個別支援も実施していることもあり、特定の職員に負担がかかったり、その職員しかお子様の様子を把握していないということが起こらないように、報告連絡相談を徹底し、職員間で支援方針や目標を共通理解しながら計画を作成しています。			

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画書は職員間に共有し、計画をもとにそれぞれが支援にあたっています。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールを使用し(こども家庭庁)、健康・生活・運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション、人間関係・社会性の5領域についてアセスメントを行っています。	
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに則って支援に必要な項目や支援内容を設定しています。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		日々のお子様の状況を共有し、プログラム立案・修正などを職員間で話し合い実施しています。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		お子様のその日の状態や発達特性を踏まえてプログラムを組み、固定化しないように工夫、実施をしています。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		R6年度は個別中心の支援からグループ支援の移行を増やし、以前はほぼなかった集団活動の場が多くなりましたが、変わらずに個別支援を希望されるケースについてはお子様の発達特性やニーズに合わせてできる限り希望通りの支援が受けられるように工夫しています。またペアや小集団活動も取り入れて個別から集団への無理ない移行の場も作っています。	法改正により個別支援の枠を減らすことになってしまいましたが、お子様の発達の状態や特性によっては、個別支援の場は大切であると考えています。希望に応じて個別支援と集団支援の組み合わせを柔軟に行い、お子様にとって必要な支援環境を作りたいと思います。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援開始前、支援終了後には職員間で情報共有や支援内容についての情報意見交換や次に向けての支援内容の話し合いを実施しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		支援開始前、支援終了後には職員間で情報共有や支援内容についての情報共有や近況の様子の報告などを行っています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の支援内容の記録をとり、その内容を職員間で共有しお子様の成長や変化に応じてプログラムの変更、充実をはかっています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年ごとにモニタリングと支援計画の見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		お子様の発達に応じて必要となる自立支援や創作活動、余暇の提供等を組み合わせさせて支援を行っています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動内容を決める際にはお子様が選択できるよう選択しをせめたり、自分のプログラムや行動を主体的に決めていけるように支援しています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者、お子様の支援を担当する児童指導員、療法師が参画しています。	
27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		常時情報提供できる体制を整えています。	
28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		ご希望の方にはお子様の当施設のご様子や共有事項についての連携を学校と直接もしくは紙面と電話などで行っています。年間計画や行事予定の把握などは保護者様を通して行っていますが学校との直接的連携は行っていません。また当施設は送迎を行っておらず保護者送迎のため学校との送迎時の対応などは実施していません。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援事業所や療育先との間で情報共有は必要に応じて行っています。常時情報提供できる体制を整えています。	

機 関 や 保	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○□	現在ご利用のお子様は小中学生が中心であり、障害者福祉サービス事業所等へ移行したケースはまだありませんが、必要に応じて情報提供できる体制を整えています。	
------------------	----	--	----	---	--

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援センターの研修会に参加し、発達検査の結果や必要なお子様に対しての関わりのアドバイスをいただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		日々のお子様の支援状況の中で外部の施設との交流が難しく積極的な実施しておりません。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		業務を調整し可能な限り参加しています。(今年度は2回参加)	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		毎回のセッション終了後に担当職員から保護者様へ向けて、お子様の様子や課題などの情報提供を行い共通理解に努めています。またセッション時の記録もご確認いただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		お子様への関わり方などについて相談を受けたり実践方法のアドバイスを行うスキルアップ講座を実施したり、必要に応じて支援を行なっています。今年度はペアレント・トレーニングを3回実施しました。また言語聴覚士より読み書き支援の実践についてや高校卒業後の進路選択についての学習会を開催しました。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時にご説明しています。また利用料については施設内の掲示板にも掲示し随時更新してお知らせをしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		お子様やご家族の意向、意思を日々の支援の機会にコミュニケーションをとって確認し、計画に反映させています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		計画書をみながら目標と支援内容の説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		随時面談や相談を受ける体制を整えており、相談があった場合は助言や支援を検討実施できるように努めています。今後も安心してご利用いただけるように配慮していきます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者学習会を開催しておりますが、当事業所の保護者会は学習会要素が強いこともあり保護者交流の場としては不十分であると思います。きょうだいへの支援はご希望があった場合心臓が中心となり具体的な困り事や関わり方について支援の時間を作っております。	次年度はご希望のある保護者様対象に交流会などを企画していきます。きょうだい支援については、取り組みについて必要なご家族にお声かけしていきます。また具体的な希望などを保護者様に確認していきます。次年度の学習会できょうだい支援をテーマに取り上げる予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		苦情対応マニュアルを策定し苦情があった場合は適切な対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		月1回のスケジュールに関することや保護者様に向けての様々なご案内をLINEや個別メールでお知らせし、事業所掲示板では新しい活動内容や心理士の通信などのお知らせをしています。セッションの様子やアート作品はSNSやYouTube上に発表の場をもうけています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報の記載があるカルテやファイルは鍵付きの書庫に保管しています。PC端末はパスワード設定する等の管理をしています。SNSにお子様の作品等を掲載する場合は保護者様・お子様と事前に話し合い、必要に応じて写真を加工したり同意書をいただき、安全の管理を徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		セッション内容や方向性などについて保護者様と直接お話をしたり連絡をとり、セッションの様子を共有するためにお子様のセッションの様子を記録を確認捺印をいただいております。お子様に対しては絵や図の利用など視覚的に理解しやすい手段の工夫などを行い対応しています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		アート活動では昨年度に引き続き、作品展と日頃の活動の発表会を開催します（3月24日）。R7年度も音楽やアート、その他の活動で地域に発信をしていく機会をつくっていきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを査定し、職員やご家族に周知しています。保護者様へ向けては契約時にご説明と随時確認できるように全てのマニュアルをとじた保護者様用ファイルを保険者向けスペースに設置しています。個別・グループで防災教育、避難訓練、災害時の対応の説明も定期的にて実施しています。	各種マニュアルについては徹底した周知には至っていないため、改善に向けて努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		BCPを査定し、通常の避難訓練や感染症対策に合わせて研修と訓練、シュミレーションを行っています。	全ての職員が防災グッズの中身と保管場所、備蓄品の把握、感染症まん延時に即対応できるように徹底しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		お客様の持病やそれに対する対応方法、注意点など保護者様から共有いただき、配慮しながら支援を行っています。また服薬に関しても把握するように努めています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		契約時のお渡しするインテークシートや保護者様への個別対応の中でアレルギーの有無などの情報を把握しています。また料理教室においては食材選定を厳密に行いアレルギー対応可能なものを選ぶように努めています。また料理教室における運営マニュアルを策定しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を策定し、研修を実施しました。安全については日々職員間で気がついたことを共有し、それを元に必要な措置を講じています。	改善点や不十分な箇所もあるため、常に内容の見直しの姿勢で計画を充実させていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		保護者同伴の来所、退所から、学年が上がるにつれ、お客様一人での来所や自立のために練習を希望されるご家庭が増えてきました。安全のために事前に緊急連絡先やルートの把握と共有を行っています。また災害時の対応も含めて「安全計画における避難経路、緊急時対応シート」を作成し、必要な情報をご記入いただく工夫を行っています。	安全計画を掲示板に貼り、常時確認できるようにしていますが、告知が十分ではなく、周知が不十分であることが課題です。事業所での取り組み内容を具体的にお知らせする工夫を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		マニュアルを策定し、報告等が速やかに行えるようにしています。またヒヤリハット事例については毎月確認し、職員間で共有し対策を検討するなどの体制をとっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止委員会を設置し、定期的に委員会の開催や研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束適正化委員会や身体拘束防止研修を実施し、身体拘束を行うときの3要件、留意点や手続き、記録などについて周知徹底しています。現在身体拘束該当の利用者はおりません。		